

教科目名 工学演習Ⅳ (Engineering Exercise Ⅳ)

学科名・学年 : 制御情報工学科 4年

単位数など : 必履修 1単位 (後期1コマ, 学習保証時間 19.5時間)

担当教員 : 丸木勇治

授業の概要			
Linux OSの使用についてコマンド入力による操作法を中心に学習し、ファイル操作やシェルスクリプトを通じてOSの機能の一部を確認し、またプログラミングの基本操作を修得して研究に使えるようにする。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2), JABEE 目標 (c)	
(1) コマンド入力によりファイル操作ができる。(課題) (2) コマンドを組み合わせて少し高度な操作ができる。(課題) (3) 基礎的なプログラミングができる。(課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. Linuxの基本操作	○ログイン, ログアウト, X Windowアプリケーションの起動, GUIによるファイル操作, シャットダウン	【理解の度合い】
2	2. エディタの使用法(1)	○gEditの使用法, 日本語の入力	
3	3. エディタの使用法(2)	○viの基本的操作	
4	4. ファイル操作(1)	○コマンド入力による基本的なファイル操作, オンラインマニュアルの使い方	
5	5. ファイル操作(2)	○高度なファイル操作, テキストファイルの表示, 行の並べ替え, 文字列の検索	
6	6. ファイル操作(3)	○ファイルの保護モードの変更, 圧縮・展開, ファイルの検索, 文字コード変換	
7	7. コマンドの高度な使い方(1)	○標準入力, 標準出力, パイプ, リダイレクト	
8	8. コマンドの高度な使い方(2)	○ワイルドカード, 簡単なシェルスクリプト	
9	9. プログラミング(1)	○C言語によるプログラム作成. 簡単なプログラムのコンパイルと実行	
10	10. プログラミング(2)	○計算結果のファイルへのリダイレクト	
11	11. プログラミング(3)	○計算結果のファイルへの書き込み	
12	12. プログラミング(4)	○gnuplotによるグラフ作成	
13	13. プログラミング(5)	○gnuplotによるグラフ作成	
履修上の注意			【総合達成度】
教科書	プリント配布		
参考図書	吉田智子他著, ホップ!ステップ!Linux!, 翔泳社 伊藤真人他著, Linux コマンドスーパーリファレンス, ソフトバンク		
関連科目	卒業研究		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について, 課題で評価する. また20%を上限として欠課1回につき2点を減点し, これを総合評価とする. 総合評価が60点以上を合格とする. 総合評価 = (課題の平均) - (欠課)		